

## 第1回 リカレント教育のためのピアノ研修会によせて

宇都宮短期大学 学長 須賀 英之



本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。  
本学園の音楽科は、昨年度、おかげさまで創立50周年を迎えました。卒業生は5700名を超え、演奏家や音楽教育者として第一線で活躍されています。これを機会に、全日本ピアノ指導者協会のご協力をいただき、リカレント教育のためのピアノ研修会を発足できますことは、大きな喜びです。  
卒業生や地域の音楽関係者および愛好者が、本学のホールに集い交流を深めつつ、さらなる高みを目指して最先端の音楽教育と演奏表現に触れる機会を、定期的に設けて参ります。皆様にはこのピアノ研修会を通して、あらたな発見と学びを、共にしていただければ幸いです。

## PROFILE



赤松 林太郎

宇都宮短期大学音楽科客員教授、一般社団法人日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授。  
1990年全日本学生音楽コンクール第1位。2000年クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位を受賞した際、Dr.ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。その後10以上の国際コンクールで受賞。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程 デイブロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビア、などを公演で回る。  
キング・インターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアソラの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》をリリースして各誌で絶賛される。初の著書《赤松林太郎 虹のように》を道和書院より発刊。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している（PTNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝、多数の国際コンクール他）。各地で開催される講座でも好評をおさめ、エッセイストとしては新聞や雑誌にも連載を持っている。第1回よりダヌビア・タレント国際音楽コンクール（ハンガリー）の審査員長を務め、ヨーロッパ各地の国際コンクールやマスタークラスに多数招聘されている。  
ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジュルジ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチュツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。

## 演奏会 & レクチャー

「音楽をなぜ教えないといけないのか！」

## PROGRAM

バッハ／2声のインヴェンション [全15曲]

～ 休 憩 ～

ショパン／ノクターン第13番 Op.48-1

リスト／波の上を歩くパオラの聖フランシス

ファリャ／火祭りの踊り

You Raise Me Up

ピアソラ／リベルタンゴ